

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: Masahiro OGUMA, et al.

Serial Number: Not Yet Assigned

Filed: October 21, 2003

Customer No.: 38834

For: EXTERIOR COVER FOR MACHINE TOOL

**CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119**

Commissioner for Patents  
P. O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

October 21, 2003

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application is hereby requested for the above-identified application, and the priority provided in 35 U.S.C. 119 is hereby claimed:

**Japanese Appln. No. 2002-310574, filed on October 25, 2002**

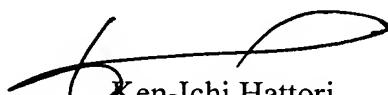
In support of this claim, the requisite certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the applicants have complied with the requirements of 35 U.S.C. 119 and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of said certified copy.

In the event that any fees are due in connection with this paper, please charge our Deposit Account No. 50-2866.

Respectfully submitted,  
WESTERMAN, HATTORI, DANIELS & ADRIAN, LLP

Atty. Docket No.: 031124  
1250 Connecticut Ave, N.W., Suite 700  
Washington, D.C. 20036  
Tel: (202) 822-1100  
Fax: (202) 822-1111  
KH/ll



Ken-Ichi Hattori  
Reg. No. 32,861

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日 2002年10月25日  
Date of Application:

出願番号 特願2002-310574  
Application Number:  
[ST. 10/C] : [JP 2002-310574]

出願人 株式会社森精機製作所  
Applicant(s):

2003年9月8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫

出証番号 出証特2003-3073548

【書類名】 特許願

【整理番号】 YNP-E-0023

【提出日】 平成14年10月25日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B23Q 11/08

【発明者】

【住所又は居所】 奈良県大和郡山市北郡山町106番地 株式会社森精機  
製作所内

【氏名】 大熊 将宏

【発明者】

【住所又は居所】 奈良県大和郡山市北郡山町106番地 株式会社森精機  
製作所内

【氏名】 新家 秀規

【特許出願人】

【識別番号】 000146847

【氏名又は名称】 株式会社森精機製作所

【代理人】

【識別番号】 100104640

【弁理士】

【氏名又は名称】 西村 陽一

【電話番号】 (06)6267-1790

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 058643

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9716846

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 工作機械の外装カバー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 工作機械本体の全体または一部を、その外側から取り囲む工作機械の外装カバーであって、

前記工作機械本体の設置床に立設されていることを特徴とする工作機械の外装カバー。

【請求項 2】 位置決め部材を有し、前記位置決め部材を前記工作機械本体に当接させることによって、横方向の位置決めを行うようにした請求項 1 に記載の工作機械の外装カバー。

【請求項 3】 前記工作機械本体のベッドに形成されたトラフに切削屑を導くオイルパンが支持されている請求項 1 または 2 に記載の工作機械の外装カバー。

【請求項 4】 前記工作機械本体の設置床に立設されるカバーフレームを挟み込むように、前記カバーフレームに内側カバープレート及び外側カバープレートを装着した請求項 1、2 または 3 に記載の工作機械の外装カバー。

【請求項 5】 前記内側カバープレートと前記外側カバープレートとの間に、断熱材が収容されている請求項 4 に記載の工作機械の外装カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、工作機械本体の全体または一部を、その外側から取り囲む工作機械の外装カバー、特に、精密加工を行う工作機械に適した工作機械の外装カバーに関する。

【0002】

【従来の技術】

マシニングセンタ、旋盤、研削盤等の各種工作機械では、作業者の安全を確保したり、切削屑等の飛散を防止したりするために、工作機械本体の全体または一部を、その外側から取り囲む外装カバーが設けられており、こういった外装カバ

ーは、工作機械を出荷、搬送する際、工作機械本体と一体的に取り扱うことができるよう、工作機械本体のベッド等に予め支持されているのが一般的である。

### 【0003】

#### 【特許文献1】

特開2002-200539号公報

### 【0004】

#### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、こういった外装カバーを工作機械本体のベッドに支持すると、外装カバーの全重量がベッドに不均一に加わることになるので、ベッドが変形し、ベッド上を移動するテーブルやサドル等を案内する、ベッドに設けられた案内面の真直性が低下したり、複数の案内面の間でねじれが発生し、これに伴って、ワークの加工精度が低下することになる。

### 【0005】

外装カバーをベッドに取り付けることに伴う加工精度の低下は数 $\mu$ mのオーダーであり、通常の工作機械では特に問題になることはないが、1 $\mu$ m以下の加工精度が要求される精密加工機ではこれを無視することができない。従って、こういった精密加工機では、ベッドの変形を防止するためにベッドの剛性をさらに高める等の工夫を講じなければならず、コスト高につながる要因となっていた。

### 【0006】

そこで、この発明の課題は、工作機械本体が本来有する加工精度をそのまま維持することができる工作機械の外装カバーを提供することにある。

### 【0007】

#### 【課題を解決するための手段及びその効果】

上記の課題を解決するため、請求項1にかかる発明は、工作機械本体の全体または一部を、その外側から取り囲む工作機械の外装カバーであって、前記工作機械本体の設置床に立設されていることを特徴とする工作機械の外装カバーを提供するものである。

### 【0008】

以上のように、この工作機械の外装カバーは、工作機械本体ではなく、工作機

械本体の設置床に立設されているので、外装カバーの重量が工作機械本体に加わることがない。従って、工作機械本体のベッド等に支持される従来の外装カバーのように、ベッドに設けられた案内面の真直性が低下したり、複数の案内面の間でねじれが発生したりすることなく、工作機械本体が本来有している加工精度をそのまま維持することができる。

#### 【0009】

このように、工作機械本体の設置床に立設される外装カバーは、工作機械本体と一体的に取り扱うことができず、工作機械本体とは個別に出荷及び設置しなければならないので、こういった出荷及び設置の便宜を考慮すると、外装カバーを複数のユニットに分割した状態で搬送し、工作機械本体を設置した後に、分割された複数のユニットを組み立てながら外装カバーを設置することが望ましい。

#### 【0010】

しかしながら、外装カバーを設置しようとする床面は、工作機械本体に比べて十分な平滑性や平面性を有していないので、例えば、既に設置された工作機械本体の幅方向の一方側と他方側とからそれぞれ個別に外装カバーを組み立てていき、工作機械本体の上方で両者を相互に連結するような場合、双方の連結端が必ずしも一致するとは限らない。従って、双方の連結端が一致しなかった場合は、双方のユニット群の組立、設置状態を修正したり、一度分解して組立、設置し直したりするといった面倒な作業を行わなければならず、外装カバーを効率よく設置することができないといった問題がある。

#### 【0011】

そこで、請求項2にかかる発明の外装カバーのように、位置決め部材を有し、前記位置決め部材を前記工作機械本体に当接させることによって、横方向の位置決めを行うようにしたものにあっては、十分な寸法精度を備えた工作機械本体に位置決め部材を当接させることによって、外装カバーの重量を工作機械本体にはとんど加えることなく、外装カバーの横方向の位置決めを精度良く行うことができるので、分割された複数のユニットを組み立てながら外装カバーを設置するような場合、最終の連結端が一致しやすくなり、効率よく外装カバーを設置することが可能になる。

**【0012】**

また、請求項3にかかる発明の外装カバーのように、前記工作機械本体のベッドに形成されたトラフに切削屑を導くオイルパンが支持されているものにあっては、オイルパンの重量が工作機械本体に加わることがないので、オイルパンがベッドに支持されている従来の工作機械に比べて、加工精度が向上する。

**【0013】**

また、請求項4にかかる発明の外装カバーのように、前記工作機械本体の設置床に立設されるカバーフレームを挟み込むように、前記カバーフレームに内側カバープレート及び外側カバープレートを装着したものにあっては、板金を折り曲げ加工することによって形成した箱状のカバーユニットを使用していた従来の外装カバーに比べて、断熱性能に優れた中空構造の外装カバーを簡単に製造することができる。

**【0014】**

また、請求項5にかかる発明の外装カバーのように、前記内側カバープレートと前記外側カバープレートとの間に、断熱材を収容することも可能である。

**【0015】****【発明の実施の形態】**

以下、実施の形態について図面を参照して説明する。図1は、図9に示す立形マシニングセンタ2を、外装カバー1によって覆った状態を示している。

**【0016】**

前記立形マシニングセンタ2は、図9に示すように、ワークの加工を行う本体部3と、複数の工具を収容する工具マガジン及び本体部3の主軸と工具マガジンとの間で工具の交換を行う自動工具交換装置が搭載されたマガジンユニット4とを備えており、本体部3は、ベッド3aと、このベッド3aの後方側に立設されたコラム3bと、このコラム3bの前面側を上下方向（Z軸方向）に昇降する主軸ヘッド3cと、ベッド3aにおけるコラム3bの前方側で、ベッド3a上を前後方向（Y軸方向）に移動するサドル（図示せず）と、このサドル上を左右方向（X軸方向）に移動するテーブル3dとから構成されている。

**【0017】**

前記マガジンユニット4は、図9に示すように、工具マガジン及び自動工具交換装置が搭載されたユニット本体4aと、このユニット本体4aを支持する上側ユニットベース4b及び下側ユニットベース4cとを備えており、図10(a)、(b)に示すように下側ユニットベース4cの右側面に形成された位置決め部4x、4yを、本体部3のベッド3aの左側面に形成された位置決め部3Lx、3Lyに押し当てることによって、マガジンユニット4が、本体部3に対して、X軸方向及びY軸方向に位置決めされている。

#### 【0018】

前記外装カバー1は、図1に示すように、本体部3におけるコラム3bの前方側及びマガジンユニット4を覆う前側外装カバー1aと、コラム3bを覆う後側外装カバー1bとから構成されており、前側外装カバー1aは本体部3の設置床に立設されていると共に、後側外装カバー1bはコラム3bの背面に設置された動力盤のベースに設置されている。

#### 【0019】

前記前側外装カバー1aは、図1～図4に示すように、本体部3の設置床に立設されるカバーフレーム10と、このカバーフレーム10の内面側に部分的に装着される内側カバープレート20と、カバーフレーム10の外面側に装着される外側カバープレート30とを備えており、内側カバープレート20と外側カバープレート30との間には、図5に示すように、内側カバープレート20に貼着された断熱材40が収容されている。

#### 【0020】

前記カバーフレーム10は、図3及び図4に示すように、マガジンユニット4の左側面側及び左背面側に配置されるフレームピース11と、マガジンユニット4の上部前面側に配置されるフレームピース12と、マガジンユニット4の上部に配置されるフレームピース13と、本体部3の右側面側に配置されるフレームピース14と、本体部3の右背面側に配置されるフレームピース15と、本体部3における加工領域の上部に配置されるフレームピース16とから構成されており、フレームピース11、14が、本体部3及びマガジンユニット4の設置床にそれぞれ立設されると共に、各フレームピース11～16は、隣接するフレーム

ピース同士が相互に接続されるようになっている。

#### 【0021】

また、図2に示すように、フレームピース11～16のうち、フレームピース13、14、15、16には、内側カバープレート20がそれぞれ装着されるようになっているが、フレームピース16における、主軸ヘッド3cが昇降する部分には、内側カバープレート20は装着されないようになっている。

#### 【0022】

フレームピース11及びフレームピース12を構成している角パイプ11a及び角パイプ12aには、図2～図4に示すように、位置決め部材として機能する支持プレート11b及び支持プレート12bがそれぞれ取り付けられており、この支持プレート11b及び支持プレート12bの内面を、マガジンユニット4の下側ユニットベース4cの左側面及び上側ユニットベース4bの前面にそれぞれ当接させた状態で、下側ユニットベース4c及び上側ユニットベース4bにそれぞれボルト止めすることによって、フレームピース11がX軸方向に位置決めされると共にフレームピース12がY軸方向に位置決めされるようになっている。

#### 【0023】

また、フレームピース14には、図2～図4に示すように、X軸方向に張り出す略L字状の位置決め部材17が着脱自在にボルト止めされるようになっており、図6(a)、(b)に示すように、この位置決め部材17の位置決め部17bx、17byをベッド3aの右側面及び前面にそれぞれ形成された位置決め部3Rx、3Ryに当接させた状態で、位置決め部材17の他方の位置決め部17ax、17ayに、フレームピース14の角パイプ(支柱)14aの位置決め部14ax、14ayを当接させることによって、フレームピース14がX軸方向及びY軸方向に位置決めされるようになっている。

#### 【0024】

また、この前側外装カバー1aには、図7に示すように、フレームピース14と内側カバープレート20との間に挟み込まれた状態で、右側のオイルパンOPの上端垂直部がフレームピース14にねじ止めされており、このオイルパンOPの重量が本体部3のベッド3aにほとんど加わらないようになっている。なお、

図には示していないが、左側のオイルパンは、その上端部がマガジンユニット4の上側ユニットベース4bの右側面にねじ止めされており、このオイルパンOPの重量も本体部3のベッド3aにほとんど加わらないようになっている。

#### 【0025】

以上のように構成された前側外装カバー1aは、本体部3及びマガジンユニット4を設置した後、本体部3及びマガジンユニット4をX軸方向に跨ぐように、複数のフレームピース11～16を用いてカバーフレーム10を組み立てた後（図8参照）、そのカバーフレーム10に内側カバープレート20及び外側カバープレート30を順次装着していくことによって形成される。ただし、フレームピース14については、カバーフレーム10を組み立てた後に、内側カバープレート20を装着することができないので、図8に示すように、予め、内側カバープレート20が装着されたフレームピース14を床面に立設することになる。

#### 【0026】

カバーフレーム10は、マガジンユニット4の左側面側及び本体部3の右側面側からそれぞれ組み上げていき、フレームピース11、12、13からなる左側のフレーム群と、フレームピース14、15、16からなる右側のフレーム群とを最後に連結することになるので、床面に固定設置されるフレームピース11及びフレームピース14の設置位置がずれると、双方のフレーム群を円滑かつ確実に連結することができなくなる。従って、フレームピース14については、上述したように、位置決め部材17を用いて、X軸方向及びY軸方向の位置決めを行うことになるが、フレームピース11については、以下のようにして位置決めが行われる。

#### 【0027】

即ち、マガジンユニット4は、上述したように、その下側ユニットベース4cに形成された位置決め部4x、4yを、本体部3におけるベッド3aに形成された位置決め部3Lx、3Lyに押し当てることによって、予め位置決めされているので、フレームピース11の支持プレート11aを、マガジンユニット4における下側ユニットベース4cの左側面（加工面）に当接させることによって、X軸方向の位置決めを行いながら、フレームピース12の支持プレート12aを、

マガジンユニット4における上側ユニットベース4bの前面（加工面）に当接させることによって、Y軸方向の位置決めを行い、双方の位置決め状態が維持されるように、フレームピース11とフレームピース12とを接続すると、フレームピース11が、X軸方向及びY軸方向に位置決めされるので、この状態で、支持プレート11aを下側ユニットベース4cの左側面に支持すると共に支持プレート12aを上側ユニットベース4bの前面に支持した後、フレームピース11を床に固定設置する。

#### 【0028】

以上のように、この前側外装カバー1aは、立形マシニングセンタ2を構成している本体部3のベッド3aではなく、本体部3の設置床に立設されているので、この前側外装カバー1aの重量が本体部3に加わることがない。従って、工作機械本体のベッド等に支持される従来の外装カバーのように、ベッド3aに設けられた、サドルやテーブル3d等を案内する案内面の真直性が低下したり、複数の案内面の間でねじれが発生したりすることがなく、本体部3が本来有している加工精度をそのまま維持することができる。

#### 【0029】

また、この前側外装カバー1aは、上述したように、カバーフレーム10を組み立てる際、位置決め部材17や支持プレート11b、12bを、本体部3のベッド3aやマガジンユニット4の上側マガジンベース4b及び下側マガジンベース4cの加工面に当接させることによって、フレームピース14、11の位置決めを行うようにしているので、カバーフレーム10が複数のフレームピースに分割されても、円滑かつ確実に組み立てることができ、前側外装カバー1aを効率よく設置することができる。

#### 【0030】

また、この前側外装カバー1aには、上述したように、オイルパンOPが取り付けられており、オイルパンOPの重量が本体部3のベッド3aにほとんど加わることがないので、オイルパンがベッドに支持されている従来の工作機械に比べて、ベッド3aの変形が抑えられ、ワークの加工精度が向上する。

#### 【0031】

また、この前側外装カバー 1a は、本体部 3 やマガジンユニット 4 の設置床に立設されるカバーフレーム 10 を挟み込むように、カバーフレーム 10 に内側カバープレート 20 及び外側カバープレート 30 を装着するようになっているので、板金を折り曲げ加工することによって形成した箱状のカバーユニットを使用していた従来の外装カバーに比べて、断熱性能に優れた中空構造の外装カバーを簡単に形成することができる。特に、この前側外装カバー 1a のように、中空部分に断熱材 40 を設ける場合も、外側カバープレート 30 を装着する前に、内側カバープレート 20 に断熱材 40 を貼着すればよいので、断熱材付きの外装カバーを簡単に形成することができる。

#### 【0032】

なお、上述した実施形態では、立形マシニングセンタ 2 における X 軸方向の両側からそれぞれ組み立てていき、立形マシニングセンタ 2 の上部で相互に連結する外装カバーについて説明したが、これに限定されるものではなく、立形マシニングセンタ 2 における X 軸方向の一方から他方に向かって組み立てていくことも可能であり、最終的に Y 軸方向に連結するような外装カバーに対しても、本発明の外装カバーに採用されている位置決め方法が有用であることはいうまでもない。

#### 【0033】

また、上述した実施形態では、フレームピース 14 に位置決め部材 17 をボルト止めするようにしているが、これに限定されるものではなく、溶接等によって位置決め部材 17 をフレームピース 14 に予め一体化しておいてもよい。

#### 【0034】

また、上述した実施形態では、立形マシニングセンタを覆う外装カバーについて説明したが、これに限定されるものではなく、種々の工作機械について本発明の外装カバーを適用することができることはいうまでもない。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

この発明にかかる一実施形態である外装カバーによって覆われた立形マシニングセンタを示す斜視図である。

**【図 2】**

同上の外装カバーを構成している前側外装カバーから外側カバープレートを取り外した状態を示す斜視図である。

**【図 3】**

同上の前側外装カバーから外側カバープレート及び内側カバープレートを取り外した状態を示す斜視図である。

**【図 4】**

同上の前側外装カバーを構成しているカバーフレームを複数のパーツに分解した状態を示す斜視図である。

**【図 5】**

同上の前側外装カバーを示す断面図である。

**【図 6】**

(a)、(b)は同上の前側外装カバーを構成している特定のフレームピースの位置決め方法を説明するための説明図である。

**【図 7】**

同上の外装カバーへのオイルパンの取付状態を示す断面図である。

**【図 8】**

同上の外装カバーの組立工程を示す斜視図である。

**【図 9】**

同上の立形マシニングセンタを示す斜視図である。

**【図 10】**

(a)、(b)は同上の立形マシニングセンタにおける本体部に対するマガジンユニットの位置決め方法を説明するための説明図である。

**【符号の説明】**

1 外装カバー

1 a 前側外装カバー

2 立形マシニングセンタ

3 本体部

3 a ベッド

3 R x、3 R y、3 L x、3 L y 位置決め部

4 マガジンユニット

4 a ユニット本体

4 b 上側ユニットベース

4 c 下側ユニットベース

4 x、4 y 位置決め部

1 0 カバーフレーム

1 1 ~ 1 6 フレームピース

1 4 a 角パイプ

1 4 a x、1 4 a y 位置決め部

1 7 位置決め部材

1 7 a x、1 7 a y、1 7 b x、1 7 b y 位置決め部

2 0 内側カバープレート

3 0 外側カバープレート

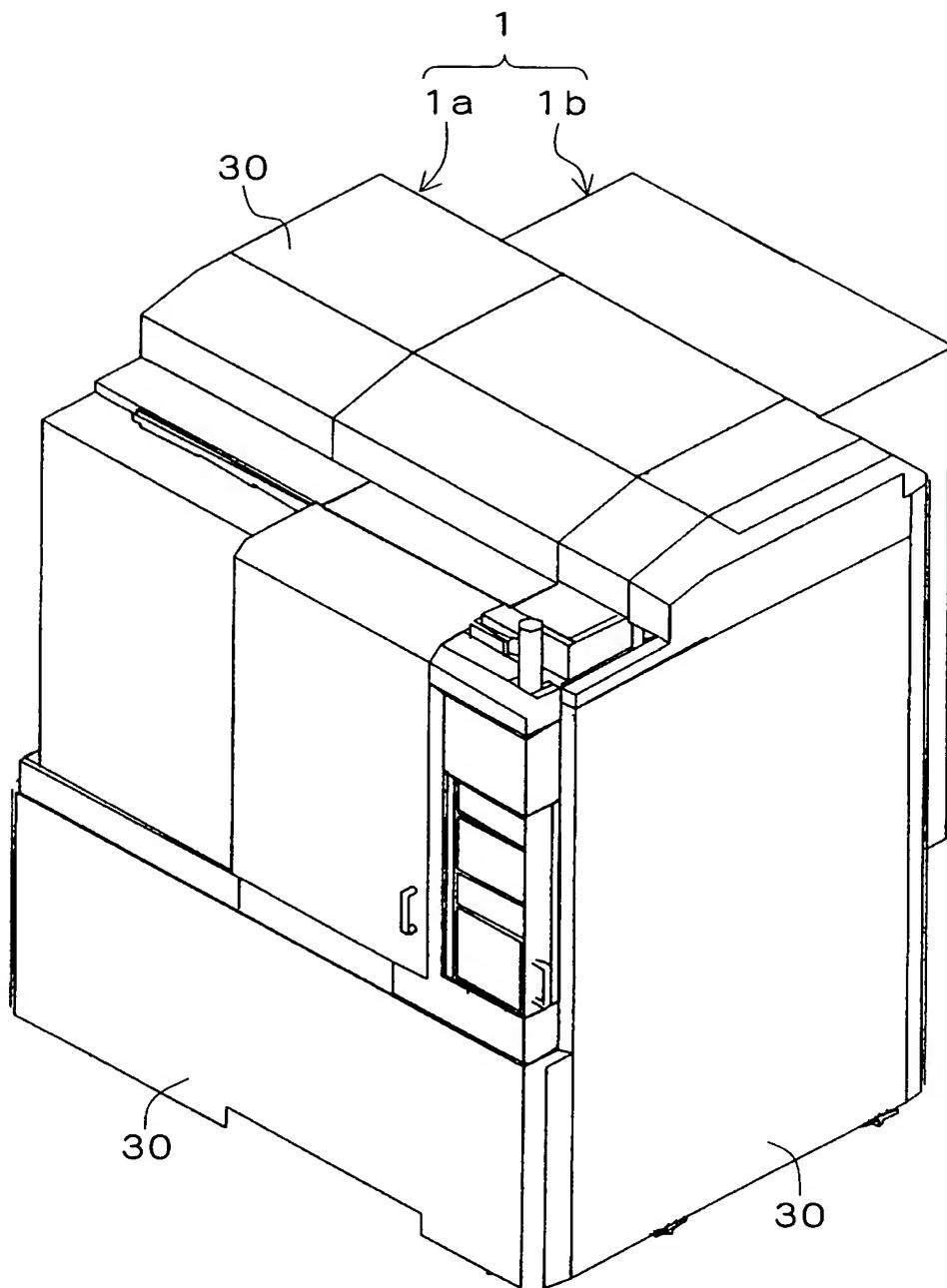
4 0 断熱材

O P オイルパン

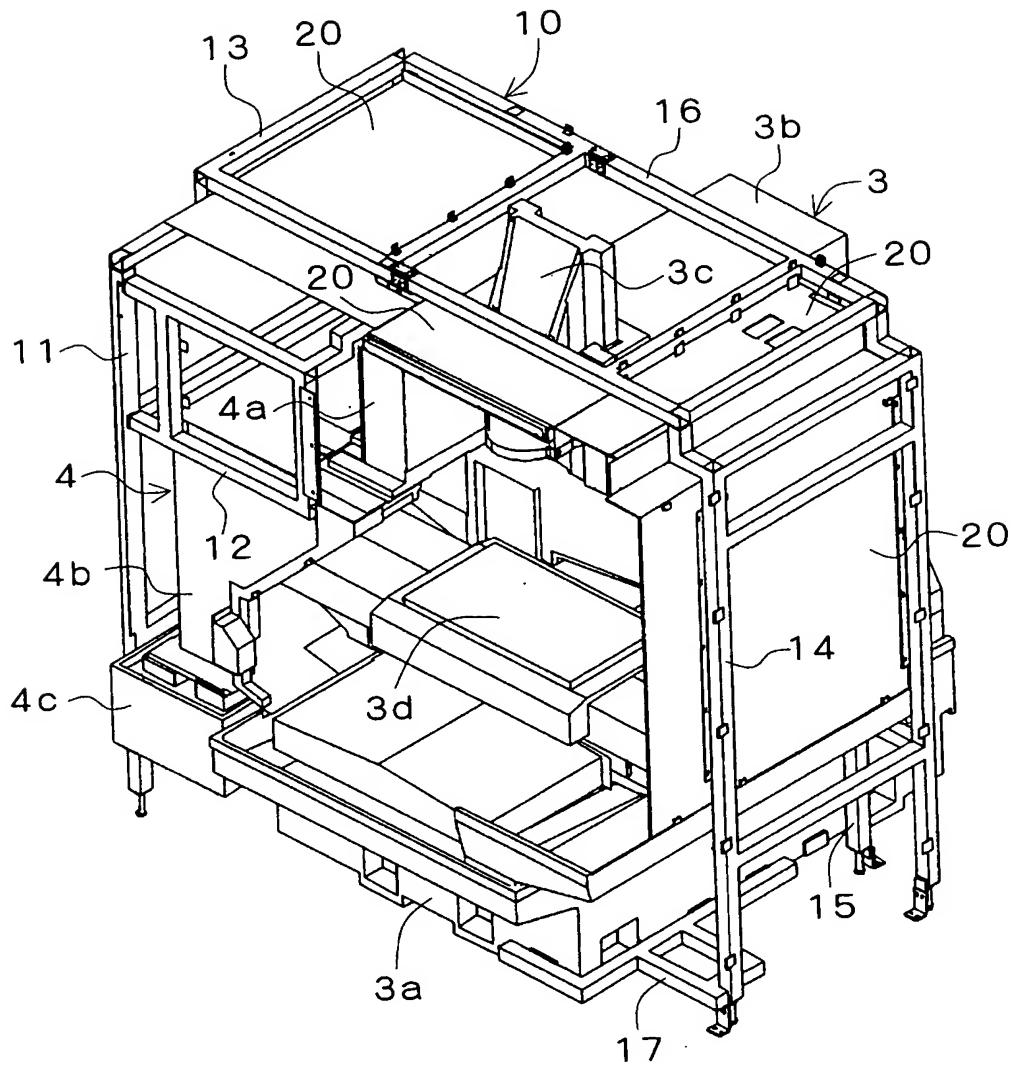
【書類名】

図面

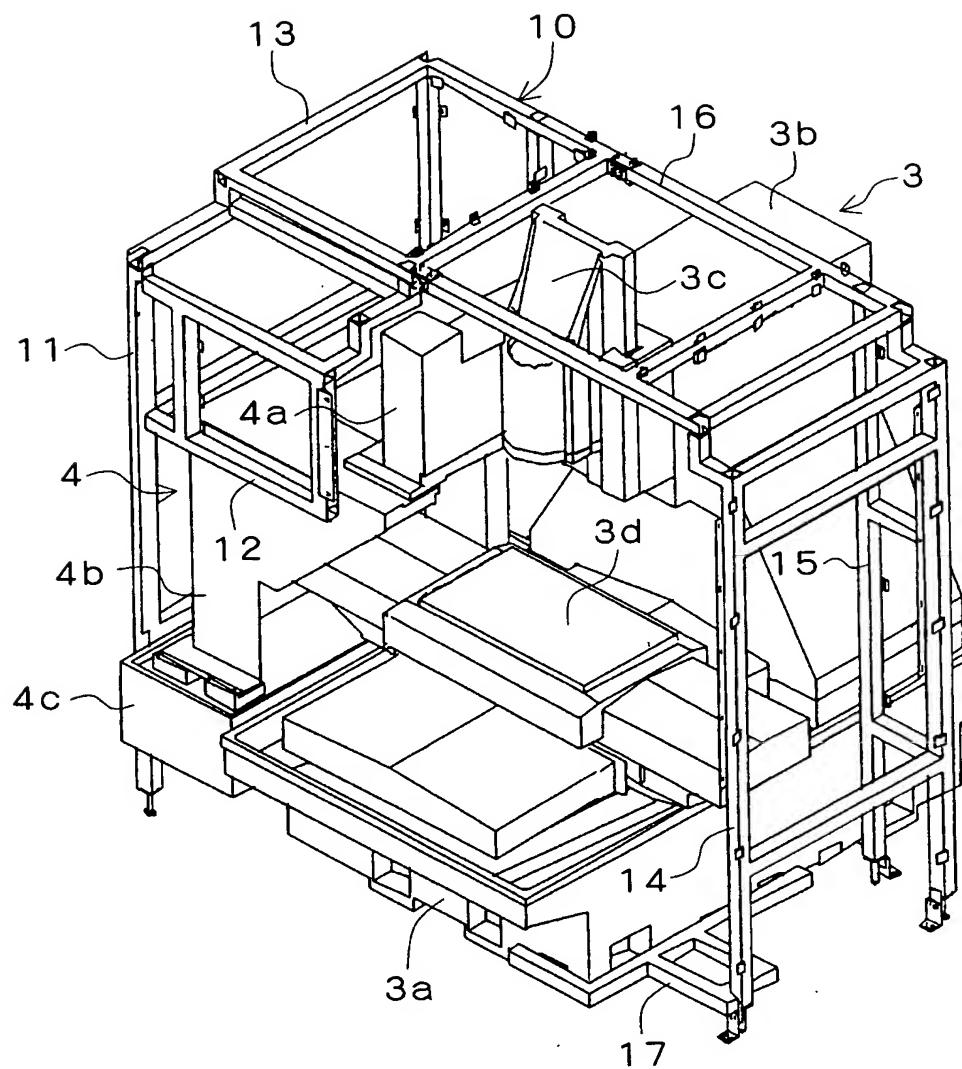
【図 1】



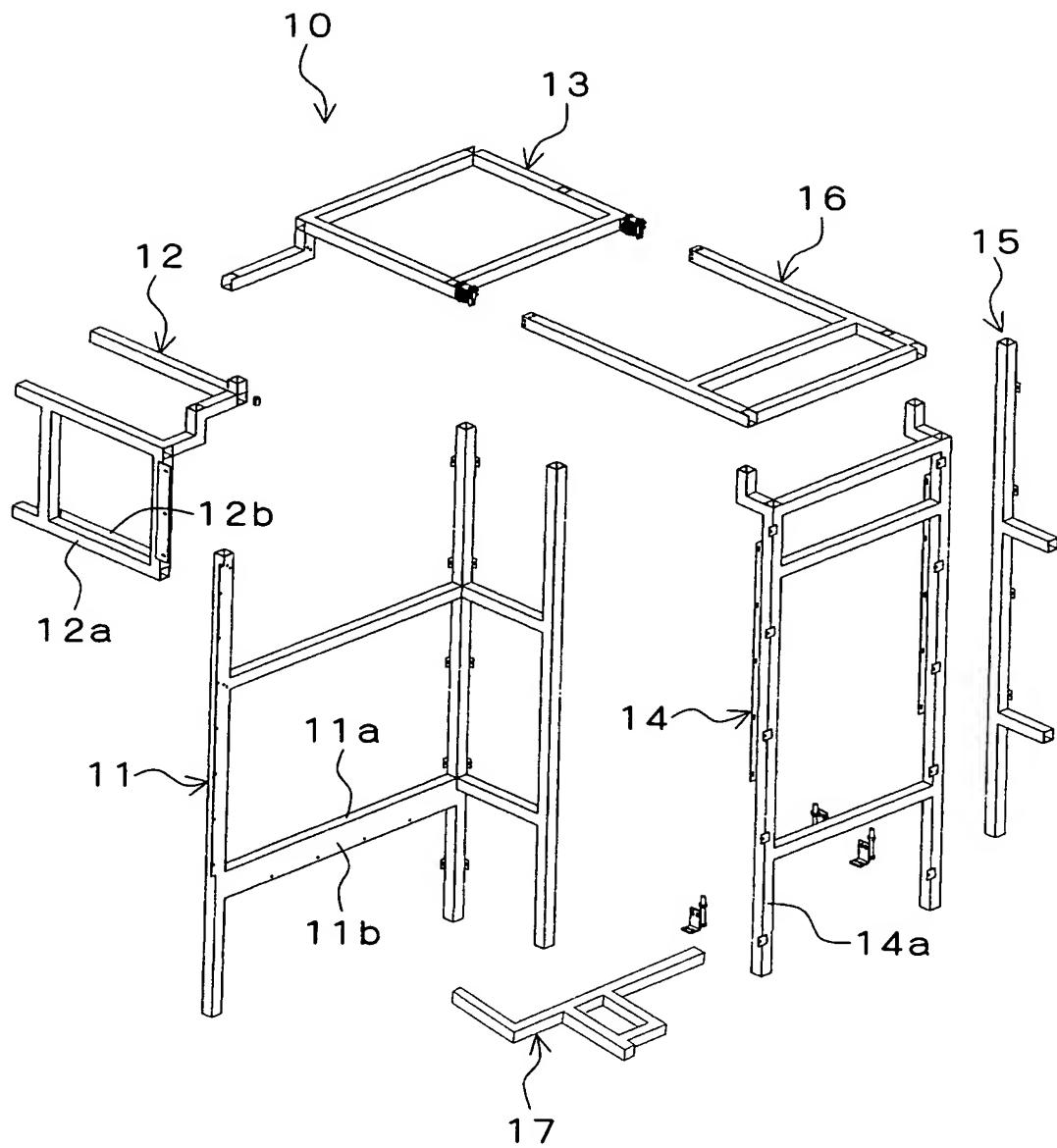
【図 2】



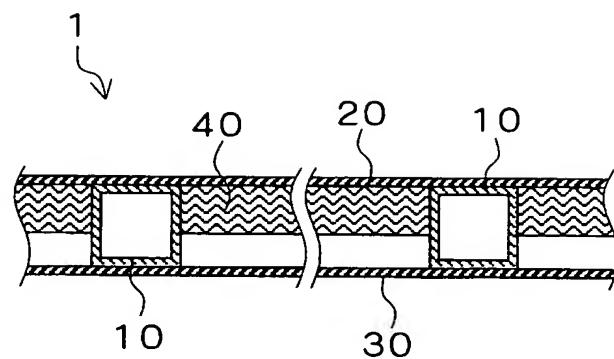
【図3】



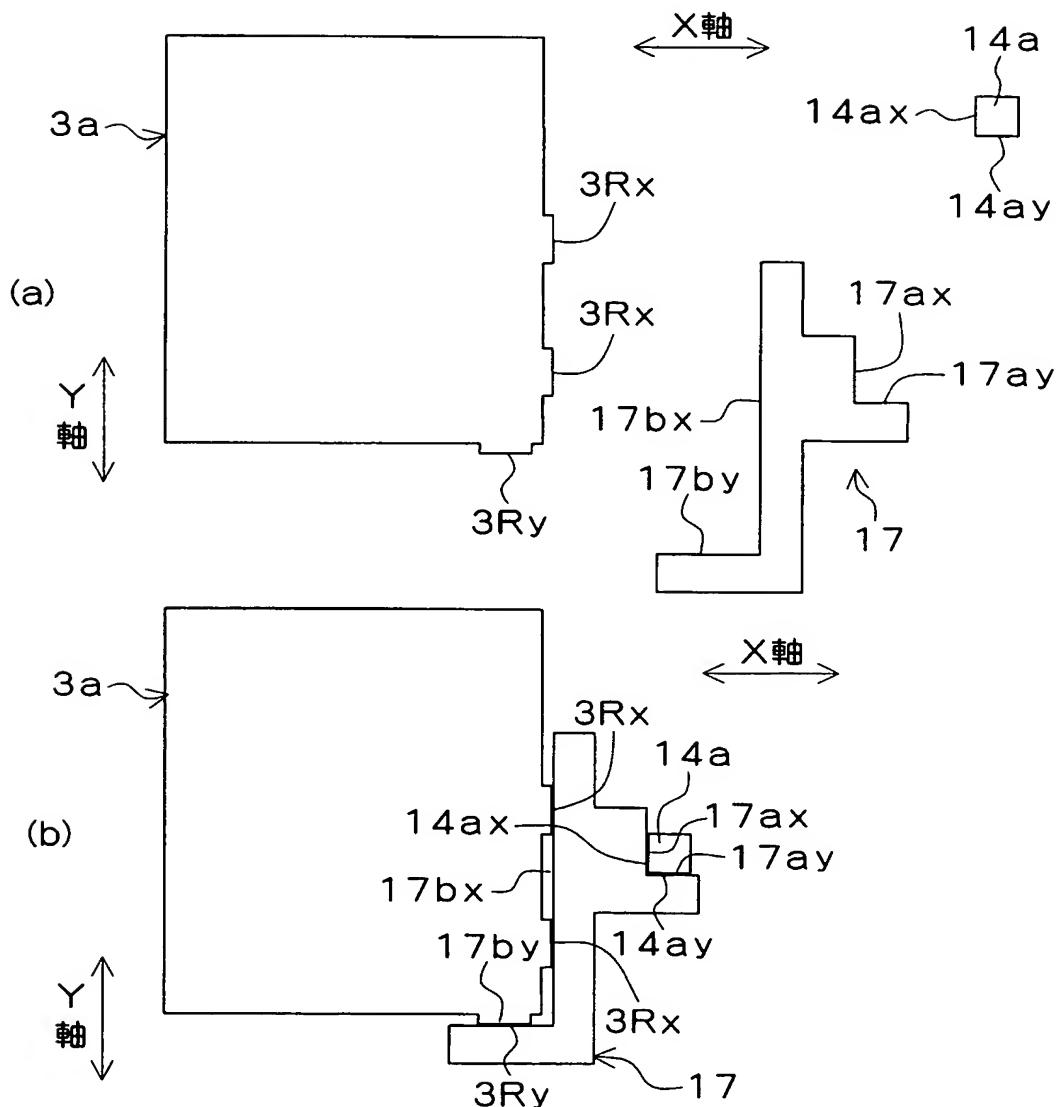
【図4】



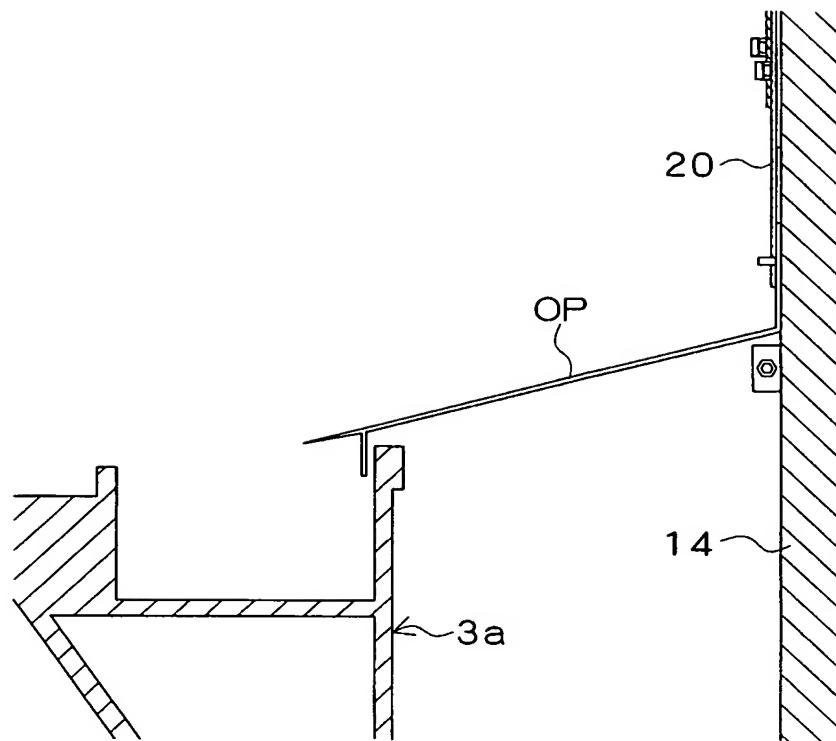
【図 5】



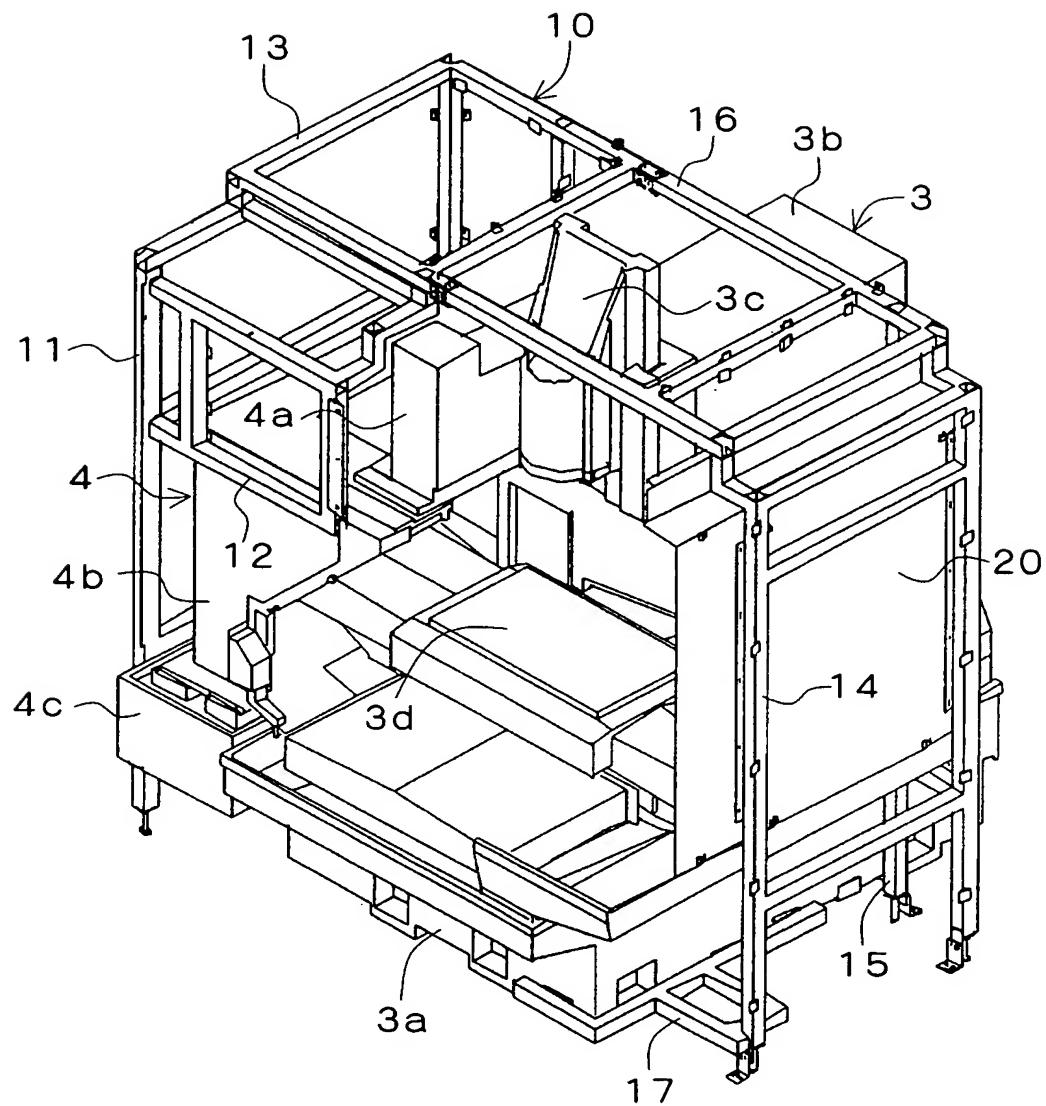
【図 6】



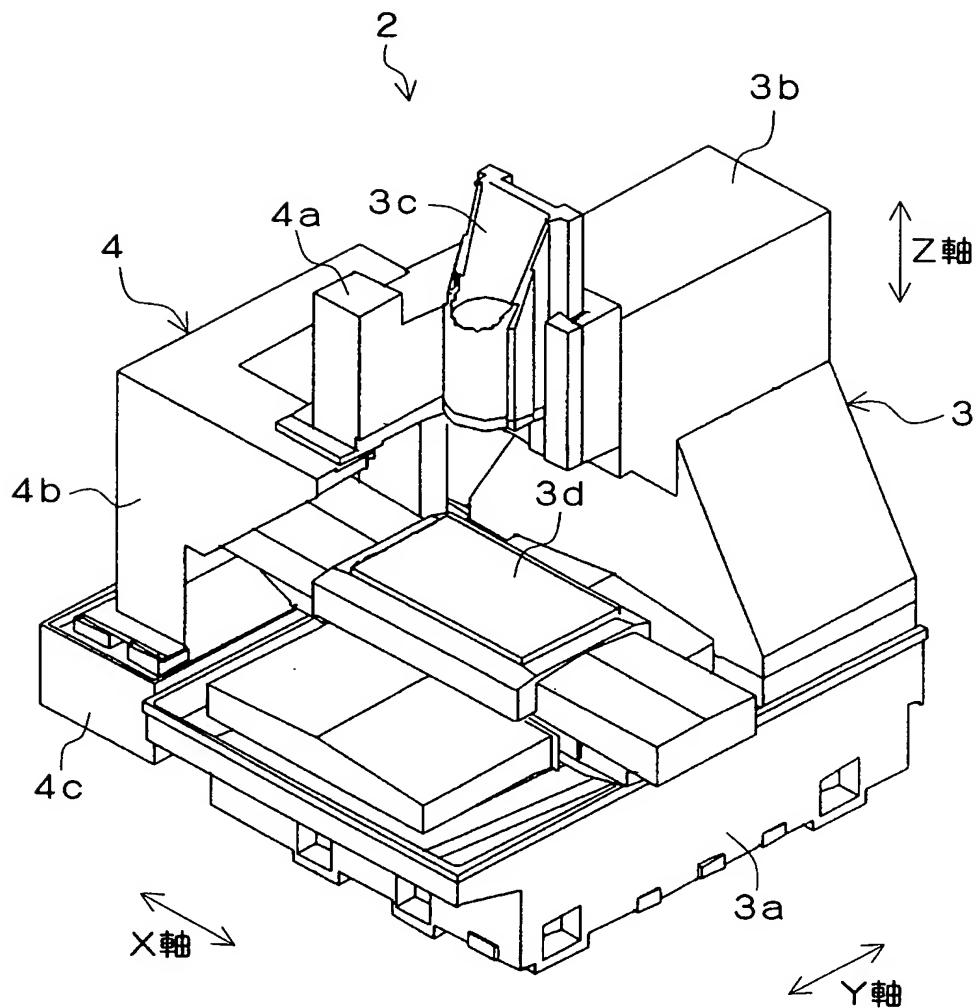
【図 7】



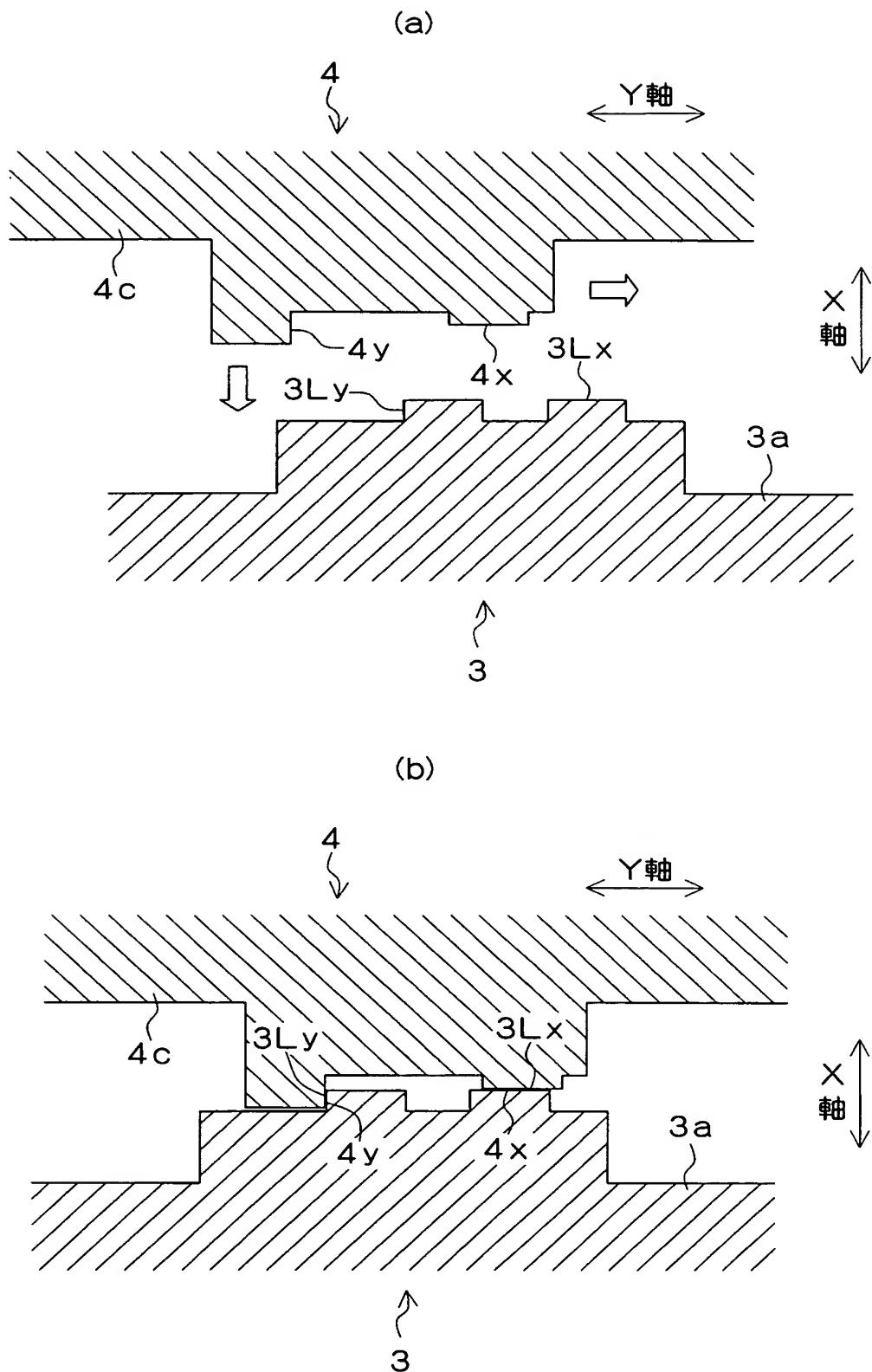
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 工作機械本体が本来有する加工精度をそのまま維持することができる工作機械の外装カバーを提供する。

【解決手段】 立形マシニングセンタ2の設置床に立設されるカバーフレーム10と、このカバーフレーム10の内面側に部分的に装着される内側カバープレート20と、カバーフレーム10の外面側に装着される外側カバープレートとを備えており、内側カバープレート20と外側カバープレートとの間には、内側カバープレート20に貼着された断熱材が収容されている。カバーフレーム10は、複数のフレームピース11～16から構成されており、これらのフレームピース11～16を用いて組み立てる際、床面に固定設置されるフレームピース14を、位置決め部材17を介して、本体部3のベッド3aの加工面に当接させることによって、フレームピース14の位置決めが行われるようになっている。

【選択図】 図2

特願 2002-310574

出願人履歴情報

識別番号 [000146847]

1. 変更年月日 1990年 8月19日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 奈良県大和郡山市北郡山町106番地  
氏 名 株式会社森精機製作所

2. 変更年月日 1998年10月 7日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 奈良県大和郡山市北郡山町106番地  
氏 名 株式会社森精機製作所